

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉（敬称略）

会沢 泉、新井和枝、荒井美奈子、飯塚泰子、井上晴江、内田信治、海老原サナエ、大井美智子、
大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、神木光治、川部栄子、小林こずい、小山エミ子、
斎藤尽志、酒井 昭、佐久間ひろ子、佐々木定男、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、
瀬戸加代子、高木千恵子、高橋明美、戸澤竹二、中嶋末子、仲里しげ子、永塚美千代、並木宗次、
野岡由紀子、野沢松代、林きぬ子、比嘉洋子、三村美代子、森脇やよい、山下一枝、若尾久美子、
若林紀美代。

〈整理作業参加者〉（敬称略）

石垣ゆき子、小澤千恵子、小林登喜江、斎藤尽志、須藤さち子、杣木嘉図子、高橋けい子、
丹治つや子、富岡康子、中田藤子、中野和子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図	1:300
遺物出土状況図	1:80
遺構平面図	1:60
炉などの詳細図	1:30
土器実測図	1:4
土器拓影図・石器実測図	1:3

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。（単位はm）

(3) 遺構図中の細数字は、床面もしくは確認面からの深さ（cm）を示す。

2. 住居跡名・土坑名・集石名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 胎土粒子に関する各項の基準は次のように定めた。

小礫；2.0mm以上、粗砂；0.2～2mm、細砂；0.2mm以下。

4. 本書では、岩宿時代を使用した。これは、先土器時代・無土器時代・旧石器時代などと言われているものである。発見遺跡名を時代名とした。

5. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

2 1993年度 埋蔵文化財試掘調査一覧

No.	遺 跡・地 点	所 在 地	面 積(m ²)	原 因	調 査 期 間
1	西ノ原遺跡第63地点	苗間 162-3,169	147	共同住宅建設	4/13~4/22
2	中沢前遺跡第6地点	苗間 202-1	506	個人住宅建設	4/23~4/26
3	西ノ原遺跡第64地点	苗間 94-1	327.05	共同住宅建設	4/27~4/28
4	神明後遺跡第1地点	苗間 281-1	615.47	共同住宅建設	5/6~5/11
5	神明後遺跡第2地点	苗間 295-2,299-3	1,688	道路築造	5/12~5/20
6	大井戸上遺跡第2地点	大井 701-1	350	個人住宅建設	6/11~6/15
7	西ノ原遺跡第65地点	苗間 145-1	615	共同住宅建設	6/7~6/11
8	西ノ原遺跡第66地点	苗間 133-2	474	共同住宅建設	6/30~7/19
9	本村遺跡第30地点	大井 155	411	個人住宅建設	7/28~8/30
10	本村遺跡第31地点	大井 154,155	484.19	共同住宅建設	8/4~8/5
11	東久保西遺跡第2地点	亀久保 419-1 他	75	竪坑工事	8/24~8/26
12	小田久保遺跡第1地点	大井 1,249-1	498.97	個人住宅建設	9/21~10/1
13	亀居遺跡第35地点	亀久保 1,012-7	470	個人住宅建設(曳家)	9/28~11/5
14	本村遺跡第32地点	大井 351	14,310	共同住宅建設	11/9~11/25
15	本村遺跡第33地点	大井 107,427-1	337	駐車場造成	11/11
16	中沢前遺跡第7地点	苗間 202-1,202-3	687	駐車場造成	11/26~11/29
17	東台遺跡第20地点	大井 649-27	5	個人住宅建設	1/30
18	本村遺跡第34地点	大井 533-5	1,013	共同住宅建設	12/2~12/3
19	西台遺跡第2地点	大井 897-1, 897-2	6,149	遊技場建設	12/13~3/31
20	西ノ原遺跡第67地点	苗間 159-2	308.05	倉庫建設	1/20~1/21
21	亀居遺跡第36地点	鶴ヶ岡 1-2-2	798.11	礼拝所建設	2/17~2/18
22	中沢前遺跡第8地点	苗間 206-2	137	事務所建設	2/3~2/4
23	苗間東久保遺跡第19地点	苗間 637-14,15,16	350	分譲住宅建設	2/8~2/15
24	亀居遺跡第37地点	亀久保 1,003-2,-6 他	566	店舗併用住宅	2/18~2/25
25	東台遺跡第21地点	大井 713-11,12	299.94	個人住宅建設	3/7~3/11
26	西ノ原遺跡第68地点	苗間字西ノ原 91-2,6	285	店舗併用住宅	3/22~3/25
27	江川東遺跡第1地点	東久保 1-145-14	52.38	個人住宅建設	3/24~3/25
合 計		31,959.16m ²			

調査地は、苗間地区12件、大井地区10件、亀久保地区3件、鶴ヶ岡地区1件、東久保地区1件である。遺跡別では西ノ原遺跡6件、本村遺跡5件、亀居遺跡3件、中沢前遺跡3件、神明後遺跡2件、東台遺跡2件、大井戸上遺跡1件、東久保遺跡1件、小田久保遺跡1件、西台遺跡1件、苗間東久保遺跡1件、江川東遺跡1件であった。

9 ^{にしだい}西台遺跡第2地点

埼玉県遺跡 №30-039

前項の小田久保遺跡より南東方向へ直線距離にして約300mの地点に位置する。標高30～29m。1991年度に小田久保遺跡へ通ずる斜面上の小路縁を試掘確認調査をおこなっているが、遺構・遺物は発見されていない。従って現在まで遺跡の詳細な時期、性格は不明である。今回は、周知されている遺跡の範囲のほぼ中央付近が調査の対象となった。

遊技場建設とその駐車場造成に伴う埋蔵文化財事前協議書が1993年11月25日に提出された。これを受けて、町教育委員会は事業者と協議し、周知されている西台遺跡の範囲のほぼ中央付近で、現地確認で土器片の散布はなかつたものの、焼礫が採集され、地形上からも岩宿時代の遺構等の遺物の存在が想定されたため、確認調査を実施することになった。1993年12月8日から重機を入れ調査を開始した。第I期分として駐車場予定地の確認調査を実施した。6,149㎡という広域な開発面積において特に岩宿時代の有無を確認するがため、2×5mのグリッドを市松状にローム面直上まで鋤取り、その後人力で縄文時代以降の遺構の有無を確認し、なければ人力で飛び市松状にローム層を2×2m深さを約30cm掘り下げた。その結果、第6図のように歴史時代の遺構と思われる黒色の落ちこみを確認した以外は、台地縁に近い地点でほぼ全面、岩宿時代の礫群が確認された。

1994年2月4日に第I期分の調査を終了し、建物本体部分予定地の第II期分調査を3月29日から4月12日まで実施した。その方法は先の部分と同様に2×5mのグリッドを市松状にローム面直上まで鋤取り、その後人力で縄文時代以降の遺構の有無を確認した。台地縁部により近い部分である。縄文時代中期の土器片を伴う集石遺構・土坑、歴史時代の土坑を確認できたところでは、岩宿時代の深掘りを行なわなかったが、それ以外のグリッドで深掘りを行なったところ第6図のように礫群が発見された。

これらの調査結果を受けて、町教育委員会と事業者間で遺跡の保存措置や本調査についての実施時期等について協議を行ない、事業認可かもしれないその見込がたつまでは本調査に着手しないことを確認した。よって、本調査については実施時期は未定である。

10 ^{おおい どうえ}大井戸上遺跡第3地点

埼玉県遺跡 №30-014

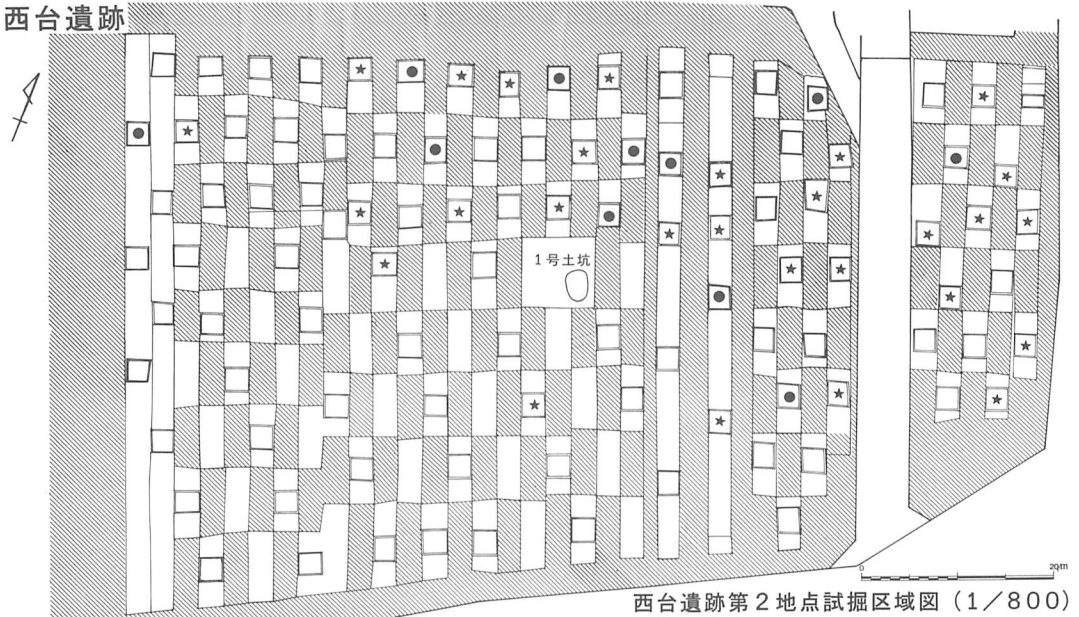
開発予定敷地内に第6図のようにトレンチを設定し、まず重機によって約40cm前後の表土を除去した。表土は軟質の黒色土でしまり弱く、下層は暗褐色土。本遺跡の範囲については未だもって確定されない状況である。過去2度の調査が実施されている。第1地点では板碑の埋設箇所を第2地点では旧石器時代の遺物を確認している。今回は第2地点とは小道をはさんだ東側に位置する。精査の結果、北側の崖側に根切り溝らしきものを確認した以外は遺構・遺物ともなんら確認されなかった。

11-1 ^{ほむら}本村遺跡第31地点

埼玉県遺跡 №30-034

土地の古老が呼んでいる地名から1989年に本村遺跡として遺跡地図に新規登録して以来、開発に伴う調査が急増してきている。これらの調査から新しい事実も確認された。つまり、江戸時代前半に整備された川越街道沿いの大井の村落が、中世には本遺跡地内に存在したことである。従前まで、

西台遺跡



西台遺跡第2地点試掘区域図(1/800)

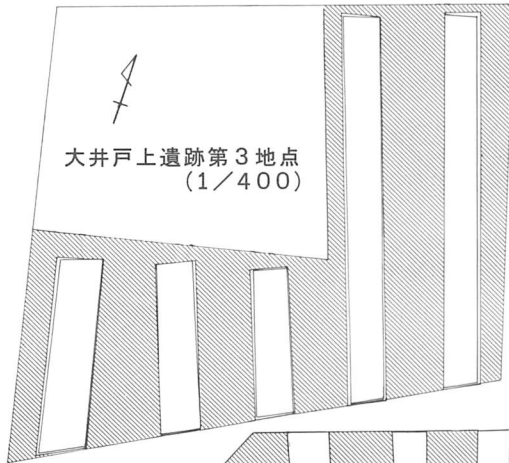
大井戸上遺跡



大井戸上遺跡調査地点

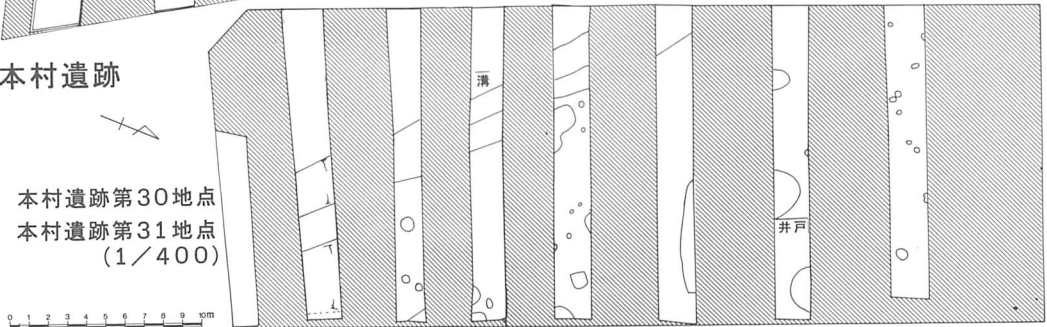


西台遺跡調査地点

大井戸上遺跡第3地点
(1/400)

本村遺跡調査地点

本村遺跡

本村遺跡第30地点
本村遺跡第31地点
(1/400)

第6図 試掘調査位置図及び調査区域図(5)



西台遺跡全景（左方の川が砂川）



試掘調査グリッド・岩宿時代試掘



岩宿時代試掘 縄文時代遺物出土状況

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1994年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理事業は、国庫（1,900,000円）、県費（950,000円）の補助金の交付を受け、平成6年4月4日から平成7年3月31日まで実施した。
3. 調査組織

調査主体者	大井町教育委員会		
担当課	生涯学習課文化財保護係		
教 育 長	小林茂吉（6.9.30まで） 高橋好次郎（6.10.1～）		
生涯学習課長	石井忠夫	文化財保護係	坪田幹男・高崎直成・鍋島直久
文化財保護係長	岡田真一	発掘調査担当者	坪田幹男・高崎直成・鍋島直久

4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。

執 筆：高崎直成（第Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ、Ⅵ章）、鍋島直久（第Ⅲ、Ⅳ章）、土本匡（第Ⅴ章石器）	土器拓影：石垣ゆき子、丹治つや子
土器復元：中田藤子	実 測：(有)文化財COM、斎藤尽志、高崎直成、高橋けい子、土本匡、鍋島直久
トレース：小林登喜江、須藤さち子	図版作成：石垣ゆき子、丹治つや子
遺構写真：坪田幹男、高崎直成、鍋島直久	遺物写真：高崎直成

また、本書の作成にあたり日本考古学協会の今井堯氏の絶大な援助と協力を得た。

5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。
浅野晴樹、荒井幹夫、今井堯、内田賢司、加藤秀之、神木繁嘉、駒井和久、桜井信枝、
佐藤正志、笹森健一、島田一郎、鈴木加津子、鈴木仁子、中島宏、塚田政子、原口雅樹、
早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、三上七五郎、水村孝行、柳井章宏、柳沢健司、和田晋治
(敬称略) 埼玉県教育局指導部文化財保護課、大井町大井・苗間第一土地区画整理組合、
亀久保特定土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会。
6. 発掘調査ならびに整理事業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

会沢 泉、秋本太郎、新井和枝、荒井美奈子、飯塚泰子、井上晴江、内田信治、海老原サナエ、
大井美智子、大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、上岡福蔵、神木光治、川部栄子、
河野俊郎、小林こずい、小山エミ子、斎藤尽志、酒井 昭、佐久間ひろ子、佐々木定男、
鮫貝有子、菅原 正、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高木千恵子、高久 彩、高橋明美、
千見寺泰臣、戸澤竹二、中嶋末子、仲里しげ子、永塚美千代、並木宗次、野岡由紀子、
野上吉樹、野沢松代、橋本弓子、塙 和男、林きぬ子、比嘉洋子、黛 佳代子、三村美代子、
宮田 守、森脇やよい、山下一枝、若尾久美子、若林紀美代。

〈整理事業参加者〉(敬称略)

石垣ゆき子、斎藤尽志、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、富岡康子、中田藤子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1)縮尺は原則として	遺構平面図・遺物出土状況図	1:60
炉等の詳細図	土器実測図	土器拓影図・石器実測図
1:30	1:4	1:3

 (2)遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。
 (3)遺構図中の細数字は、床面もしくは確認面からの深さ(cm)を示す。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 土器断面図は、「網目」が繊維含有、「黒丸」が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
5. 本報告の出土品・記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

2 1994年度 埋蔵文化財調査一覧

No.	遺 跡・地 点	所 在 地	面積(m ²)	原 因	調査期間	調 査 結 果
1	西台遺跡第2地点	大井897-1、2	6,149	遊 技 場 建 設	4/4～4/12	試掘調査 旧石器時代 礫群 縄文時代 集石 土坑
2	本村遺跡第35地点	大井357-1	452	共同住宅建設	4/4～4/12	試掘調査 遺構なし
3	西ノ原遺跡第69地点	苗間106	1,821	店 舗 建 設	4/8～4/27	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 屋外炉 土坑
4	西ノ原遺跡第70地点	苗間136	551	店 舗 建 設	5/9～5/17	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 伏甕 土坑 ピ ット
5	東台遺跡第22地点	大井651-6	145.53	店 舗 建 設	5/10～5/11	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 土坑
6	小田久保遺跡第3地点	大井1214-3	330	個人住宅建設	6/7	試掘調査 遺構なし
7	西ノ原遺跡第71地点	苗間112	309	個人住宅建設	6/20～7/5	試掘調査 時期不明 おとし穴
8	東台遺跡第23地点	大井649-12、13	285.91	個人住宅建設	6/23～6/27	試掘調査 縄文時代 住居跡
9	東台遺跡第24地点	大井634-20	58.49	個人住宅建設	7/6	試掘調査 縄文時代 集石 土坑
10	鶴ヶ舞遺跡第3地点	鶴ヶ舞1-69-1	141	駐 車 場 造 成	7/10	試掘調査 遺構なし
11	本村遺跡第36地点	大井101-9-10	890	共同住宅建設	7/28～8/4	大井町遺跡調査会で発掘調査 旧石器時代 礫群 縄文時代 土坑 中近世 井戸 溝 土坑 柵列
12	亀居遺跡第38地点	鶴ヶ岡2-1-1他	3,162.14	店 舗 建 設	8/22～8/30	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文時代 集石 土坑 おとし穴 近世 根切溝
13	亀居遺跡第39地点	亀久保1008-5	342	駐 車 場 造 成	8/26～8/29	試掘調査 縄文時代 炉穴 土坑
14	本村遺跡第37地点	大井251	596	事 務 所 建 設	8/31～9/2	試掘調査 遺構なし
15	本村遺跡第38地点	大井253	264.53	個人住宅建設	8/30～9/7	試掘調査 中近世 溝
16	浄禅寺跡遺跡第8地点	苗間357-1	615	宅 地 分 譲	9/20～9/27	試掘調査 時期不明 おとし穴 近世 根切溝
17	浄禅寺跡遺跡第9地点	苗間353	1,266	農 地 改 良	10/18	試掘調査 時期不明 土坑 溝 焼土
18	浄禅寺跡遺跡第10地点	苗間356-1	999.09	宅 地 分 譲	10/31～11/2	大井町遺跡調査会で発掘調査 近世 土壌墓 一石経埋納土坑 溝
19	東台遺跡第25地点	大井648-13、14	296.04	個人住宅建設	10/22～12/16	本調査 縄文中～後期 住居跡 土坑 袋状土壌 ピット 6 委保記第5-5066号
20	西ノ原遺跡第72地点	苗間112-109	321.47	個人住宅建設	11/2～11/28	本調査 縄文中期 住居跡 土坑 近世 溝 6 委保記第5-6583号
21	本村遺跡第39地点	大井124-1	805	共同住宅建設	11/9～11/16	試掘調査 遺構なし
22	本村遺跡第40地点	大井321-1	131	宅 地 分 譲	11/22	試掘調査 遺構なし
23	本村遺跡第41地点	大井326	413	宅 地 分 譲	11/15～11/22	大井町遺跡調査会で発掘調査 近代 ゴミ捨て土坑
24	本村遺跡第42地点	大井325	201	宅 地 分 譲	11/15～11/22	大井町遺跡調査会で発掘調査 近代 ゴミ捨て土坑
25	浄禅寺跡遺跡第11地点	苗間352-1他	572	道 路 築 造	1/9～2/3	試掘調査 時期不明 湧水口 焼 土
26	本村遺跡第43地点	大井153-2、3	704	宅 地 分 譲	1/12～1/19	大井町遺跡調査会で発掘調査 中近世 井戸 土坑 溝 柵列
27	江川東遺跡第2地点	東久保1-162-34	190.90	個人住宅建設	1/20～2/6	本調査 近世 土坑 ピット 7 委保記第5-856号
28	本村遺跡第44地点	大井287-1	1,198.68	共同住宅建設	2/17～2/28	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文時代 土坑 おとし穴 中近世 井戸 土坑 道路跡 ピット
29	神明後遺跡第3地点	苗間309-12-13	200.03	宅 地 分 譲	3/24～3/29	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡埋甕 土坑 ピット 近世 溝
30	西ノ原遺跡第73地点	苗間92-1	274	個人住宅建設	3/27～3/29	試掘調査 遺構なし
	調査面積合計		23,543.81			

(7) 小田久保遺跡第3地点

本遺跡は町内で最も内陸部に位置し、砂川堀の左岸の低位台地に立地する。遺跡の北側にも埋没河川があり、砂川堀とに挟まれた島状の微高地ととらえることができる。この微高地は大井氏館跡遺跡へと続く。標高24～26m。遺跡の時期は旧石器時代、縄文時代前期～中期である。

調査期間 1995,6,21～6,24 面積 330m² 調査原因 個人住宅建設

調査方法 2m幅のトレンチを3本設定し、バック・ホウで表土除去した後、人力で精査。

調査結果 遺構無し。

調査所見 集落の縁辺部にあたり、遺構密度の薄い地域と思われる。ただ焼礫が出土し、砂川堀にも近いことから近隣に礫群が存在する可能性もある。

【出土遺物】 1は隆帯脇を沈線で押さえ、区画内を連続刺突と半円形刺突で充填する勝坂式。2は打製石斧で長さ11.2cm、幅4.8cm、厚さ1.7cm、上端が片方抉れる。

(8) 西台遺跡第2地点

砂川堀の右岸、急崖上に立地する。標高28～30m。対岸の低地部にある小田久保遺跡とは5m以上の比高差がある。遺跡の時期は旧石器時代、縄文時代前期～中期である。

調査期間 1994,4,4～4,12 面積 6,149m² 調査原因 遊技場建設

調査方法 2×5mのグリッドを市松状にローム面直上まで人力で鋤取り、精査。

調査結果 旧石器時代（礫群）、縄文時代中期（集石、土坑）、歴史時代（土坑）

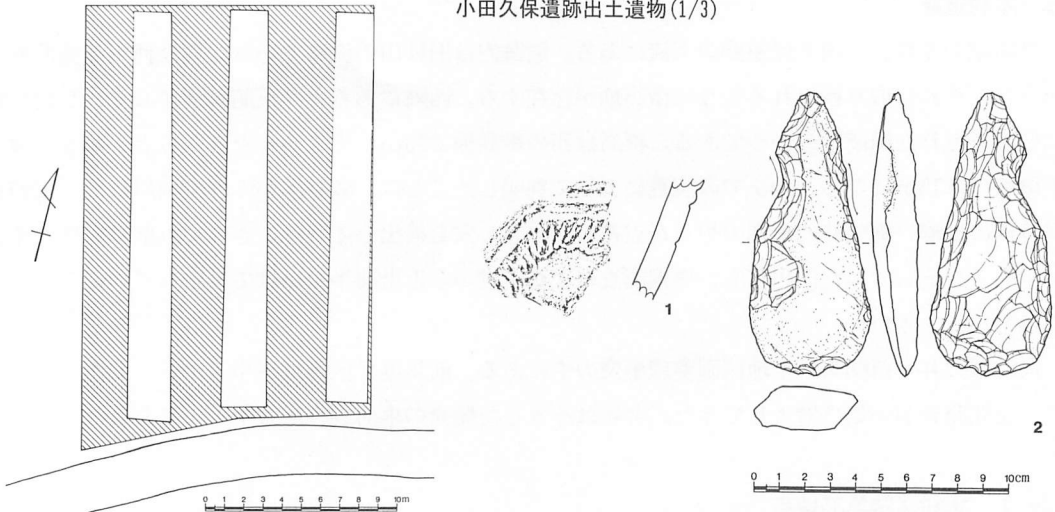
調査所見 今回は、前年度調査した駐車場予定地の北で、母屋の建っていた場所の真下にあたる。遺跡範囲のほぼ中央付近で台地縁部により近い部分である。ほぼ全域で集石、土坑、礫群を確認した。これらの調査結果を受けて、町教育委員会と事業者間で遺跡の保存措置や本調査についての実施時期等について協議を行ない、事業認可かもしくはその見込がたつまでは本調査に着手しないことを確認した。よって、本調査の実施時期は未定である。

小田久保・西台遺跡



第11図 試掘調査位置図及び調査区域図(8)

小田久保遺跡出土遺物(1/3)



小田久保遺跡第3地点調査区域図(1/400)



西台遺跡第2地点調査区域図(1/600)

第12図 試掘調査位置図及び調査区域図(9)



西台遺跡第2地点 全景



西台遺跡第2地点 遺物出土状況



本村遺跡第35地点



本村遺跡第37地点



本村遺跡第38地点 全景



本村遺跡第38地点 溝・土層



本村遺跡第38地点 溝



本村遺跡第38地点 遺物出土状況